

●平成29年度 地方創生拠点整備交付金事業 効果検証シート

事業名	観光と産業・文化を結び魅力を伝え発信する拠点施設整備事業			担当課	商工観光課
事業全体の概要・目的	<p>本町の観光拠点である「鳥の海」周辺には、温泉施設「わたり温泉鳥の海」や産直施設などがあり、年間25万人ほどが訪れ賑わいを見せている。「わたり温泉鳥の海」は、平成29年度から民間活力を活用し仙台秋保温泉「佐勘」を運営する「株式会社ホテル佐勘(以下、佐勘)」へ運営を任せる。佐勘は、宿泊サービスを再開させるほか新たにグランピング事業を展開し、民営化した仙台空港から一番近い温泉宿泊施設として、国内外にPRし、新たな誘客を図っていく。また、本町を含む宮城県南4市9町におけるインバウンド誘致や観光関連産業の振興などを目的に「一般社団法人宮城インバウンドDMO(以下、DMO)」が民間主体で設立し、今後の訪日外国人旅行者の誘致活動が一層加速する。</p> <p>こうした佐勘やDMOの取り組みなどと連携し、生み出す新たな人の流れを町内全域に波及させるため、わたり温泉鳥の海の隣接地に本町の産業や文化などを観光と結びつけ、様々な魅力を伝え発信する拠点を整備し、地域資源のPRにより、鳥の海から町内全域への周遊を図り、交流人口の拡大及び地域内消費の増加を創出するとともに、地域資源を活用した新たな価値を創造する取り組みを行い、稼ぐ力の向上を図る。</p>				
予算執行状況	予算額	執行額	執行率	うち地方創生関連交付金	
	146,280,000円	124,308,000円	84.97%	62,154,000円	
	主な支出				
	実施設計業務	8,640,000円	建設工事		
総合戦略	基本目標	産業(観光)振興			
		町内法人の従業員数 7,500人			
	基本目標	交流人口拡大			
		観光客入込数 900,000人/年			

事業詳細	
わたりseaside baseの建設	
目的・内容	これまで取り組みが不足していた観光と地域産業や文化をつなぐ拠点施設として、新たに地域資源を磨き発信するマルシェやイベントなど多目的な使用に対応できる施設を整備する。
1 実施状況・効果	<p>●施設概要 柱がなく全面が使用可能な屋内空間と、屋外に大庇を設置し、イベント時に施設の内外をフル活用できるよう整備した。</p> <p>【場所】 亘理町荒浜築港通り35-51 【敷地面積】 2,004.40㎡ 【建物規模・構造】 鉄骨造平屋建て 499.50㎡     屋内① 13.50m×27.00m=364.50㎡     屋内② 5.00m×6.00m=30.00㎡     大庇 5.00m×21.00m=105.00㎡ 【屋根・外壁・大庇】 テント膜</p>

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	達成状況	未達成の場合、その要因
1	施設使用料収入(千円)	目標						達成	
		0	0	5,408	760	766	784		
		実績							
		0	0						
2	施設利用者数(人)	目標						達成	
		0	0	55,000	10,000	10,500	11,000		
		実績							
		0	0						
3	施設への出店イベント販売額(千円)	目標						達成	
		0	0	15,480	4,438	5,000	5,564		
		実績							
		0	0						
事業効果	効果	地方創生に非常に効果的であった							
		地方創生に相当程度効果があった							
		✓ 地方創生に効果があった							
	地方創生に効果がなかった								
理由	観光拠点の鳥の海エリアに、地域産業や文化と観光を結び付け、様々な魅力を発信できる起点ができたことにより、町内の周遊促進、観光消費の増加へとつなげる環境が整備された。								
今後の方針	方針	追加等更に発展させる							
		事業内容の見直し(改善)							
		✓ 事業の継続							
		事業の中止							
	予定通り事業終了								
理由	鳥の海エリアの集客を生かし、生産者や事業者がマルシェによる消費者と共に行うモノづくりから新たな価値を創造するなど稼ぐ力に磨きかけるとともに、町内の魅力を発信することで鳥の海から町内全域へ誘客を図っていく。また、民間のノウハウを生かしたイベントなど施設利用を促していく。								